

より良好な森林地域の保全と質の高い利用の提供に係る取組のバックデータ

1. 利用調整地区の適正な運用等.....	2
1-1. 利用調整地区の利用実態 .....	2
(1) 認定関係事務等の実施状況 .....	2
(2) 巡視及び違反者等への指導状況 .....	3
1-2. 利用調整地区の利用者意識 .....	5
(1) 利用者意識に関するアンケート調査 .....	5
1-3. 利用調整地区の利用施設 .....	17
(1) 歩道状況調査 .....	17
(2) 洗掘詳細調査 .....	22
2. 利用調整のモデル地区としての情報発信.....	25
(1) 西大台利用調整地区普及啓発ポスター・リーフレット等の作成・配布【予定】 .....	25
3. その他の取組.....	26
(1) 西大台希少植物盗掘防止パトロールの実施 .....	26
(2) 吉野熊野国立公園 西大台利用調整地区 歩道管理マニュアルの作成 .....	28

別添：吉野熊野国立公園 西大台利用調整地区 歩道管理マニュアル

## 1. 利用調整地区の適正な運用等

### 1-1. 利用調整地区の利用実態

#### (1) 認定関係事務等の実施状況

##### ① 利用調整を行った期間

平成 24 年 4 月 27 日(金)から 11 月 30 日(金)まで (218 日間)

※ 県道大台ヶ原公園川上線(大台ヶ原ドライブウェイ)の開通期間。

この期間は事前に申請をして認定を受けた者のみ西大台への立入りが可能。

##### ② 1日あたりの立入り可能な人数の上限

- ・ 利用集中期の土日祝日 : 100人
- ・ 利用集中期の平日、利用集中期以外の土日祝日 : 50人
- ・ 上記以外の平日 : 30人

※ 利用調整地区内での行動は1グループ10人以内。

##### ③ 利用集中期(カレンダー参照)

過去の利用実態に基づき、以下の期間を利用集中期として設定(計110日)。

- ・ 春期:平成24年4月27日(金)から6月17日(日)まで
- ・ 夏期:平成24年8月11日(土)から8月19日(土)まで
- ・ 秋期:平成24年9月22日(土)から11月4日(日)まで

##### ④ 立入認定事務

上北山村商工会が、指定認定機関として、以下の立入認定事務を行った。平成24年度の立入については、平成24年1月27日(金)から受付を開始した。立入認定事務の実施結果を表1(p.3参照)及び表4(p.4参照)に示した。

- ① 事前電話予約の受付(立入希望日の3ヶ月前～)
- ② インターネットによる事前予約の受付及び予約状況に関する情報提供
- ③ 申請書の接受(立入希望日の5日前まで)
- ④ 申請書に係る審査、認定証の発行、申請者への認定証等の郵送

[平成24年度からの変更点]

特になし

##### (5) 事前レクチャー

実施期間:平成24年4月27日(金)から11月30日(金)まで

実施場所:大台ヶ原ビジターセンター レクチャールーム・上北山村商工会

実施者:環境省(請負事業者含む)・上北山村商工会

時間割:表2、表3(p.3参照)のとおり。

[平成24年度からの変更点]

小処方面からの入山者に限定して、上北山村商工会にて事前レクチャーを実施。(実施実績なし)

表1：認定者数、レクチャー受講者数等（平成24年度）

	認定者数	レクチャー 受講者数	受講免除者数	キャンセル数
4月	42	44 (104.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
5月	519	465 (89.6%)	13 (2.5%)	42 (8.1%)
6月	281	248 (88.3%)	9 (3.2%)	25 (8.9%)
7月	198	183 (92.4%)	4 (2.0%)	15 (7.6%)
8月	270	238 (88.1%)	5 (1.9%)	18 (6.7%)
9月	275	219 (79.6%)	23 (8.4%)	35 (12.7%)
10月	903	788 (87.3%)	52 (5.8%)	64 (7.1%)
11月	491	410 (83.5%)	29 (5.9%)	50 (10.2%)
合計	2,979	2,595 (87.1%)	135 (4.5%)	249 (8.4%)

注1) ( ) 内は、各月の認定者数に対する割合を示す。

表2：事前レクチャーの時間割（大台ヶ原ビジターセンター レクチャールーム）

	利用集中期の平日・ 通常期のすべての日	利用集中期の土日祝日
①	無し	7:30～8:00
②	8:30～9:00	8:30～9:00
③	9:30～10:00	9:30～10:00
④	10:30～11:00	10:30～11:00
⑤	11:30～12:00	11:30～12:00
⑥	16:00～16:30	16:00～16:30

表3：事前レクチャーの時間割（上北山村商工会）

	利用集中期、通常期の平日
①	無し
②	8:30～9:00
③	9:30～10:00
④	10:30～11:00
⑤	11:30～12:00
⑥	16:00～16:30

注1) 8/13～8/16を除く

## (2) 巡視及び違反者等への指導状況

今年度は、下記のとおり、巡視を実施した。利用調整期間中、毎日巡視を実施し、無認定立入者への指導等を行った。

実施期間：平成24年4月27日(金)から11月30日(金)まで毎日

実施者：自然保護官及びアクティブレンジャーなど環境省職員による巡視の他、環境省の巡視業務を請け負った者が職員の指示のもと複数人数で実施。

実施結果：・無認定の立入者6件(計8人)を確認し、西大台利用調整地区からの退出等を指導した(H23：6件(計8人)、H22：8件(計16人))。

・無認定で立入ろうとした者3件(計5名)に対し、利用調整地区の入口で注意するなどして違反の未然防止を行った(H23：17件(計29人)、H22：20件(計35人))。

表4：日別認定者数等一覧

4月						5月						6月						7月									
日	曜日	認定者数	受講者数	免除者数	キャンセル数	上限	日	曜日	認定者数	受講者数	免除者数	キャンセル数	上限	日	曜日	認定者数	受講者数	免除者数	キャンセル数	上限	日	曜日	認定者数	受講者数	免除者数	キャンセル数	上限
1	日	-	-	-	-	-	1	火	8	8	0	0	50	1	金	2	0	1	0	50	1	日	4	2	0	0	50
2	月	-	-	-	-	-	2	水	3	0	0	1	50	2	土	35	32	1	3	100	2	月	0	0	0	0	30
3	火	-	-	-	-	-	3	木	9	49	0	5	100	3	日	42	38	1	2	100	3	火	0	0	0	0	30
4	水	-	-	-	-	-	4	金	67	41	0	3	100	4	月	0	2	0	0	50	4	水	0	0	0	0	30
5	木	-	-	-	-	-	5	土	64	41	0	2	100	5	火	8	6	0	0	50	5	木	0	0	0	0	30
6	金	-	-	-	-	-	6	日	29	27	0	1	100	6	水	0	0	0	0	50	6	金	0	0	0	0	30
7	土	-	-	-	-	-	7	月	1	1	0	0	50	7	木	26	30	2	4	50	7	土	0	1	0	0	50
8	日	-	-	-	-	-	8	火	5	2	1	2	50	8	金	15	6	0	1	50	8	日	4	3	0	0	50
9	月	-	-	-	-	-	9	水	2	24	0	0	50	9	土	31	45	0	4	100	9	月	0	0	0	0	30
10	火	-	-	-	-	-	10	木	28	4	0	3	50	10	日	24	12	3	0	100	10	火	0	0	0	0	30
11	水	-	-	-	-	-	11	金	1	1	0	0	50	11	月	16	5	0	1	50	11	水	0	0	0	0	30
12	木	-	-	-	-	-	12	土	3	2	0	0	100	12	火	1	0	0	0	50	12	木	0	0	0	0	30
13	金	-	-	-	-	-	13	日	17	8	3	6	100	13	水	7	7	0	0	50	13	金	0	2	0	0	30
14	土	-	-	-	-	-	14	月	0	0	0	0	50	14	木	0	0	0	0	50	14	土	10	8	0	0	50
15	日	-	-	-	-	-	15	火	4	2	1	1	50	15	金	2	6	0	0	50	15	日	23	25	0	0	50
16	月	-	-	-	-	-	16	水	3	3	0	0	50	16	土	32	27	0	6	100	16	月	19	10	0	7	50
17	火	-	-	-	-	-	17	木	6	6	0	0	50	17	日	18	9	0	4	100	17	火	2	2	0	0	30
18	水	-	-	-	-	-	18	金	2	3	0	0	50	18	月	0	0	0	0	30	18	水	0	0	0	0	30
19	木	-	-	-	-	-	19	土	12	17	0	2	100	19	火	0	0	0	0	30	19	木	0	0	0	0	30
20	金	-	-	-	-	-	20	日	20	11	1	0	100	20	水	0	0	0	0	30	20	金	3	2	1	0	30
21	土	-	-	-	-	-	21	月	4	4	0	0	50	21	木	0	0	0	0	30	21	土	7	5	0	2	50
22	日	-	-	-	-	-	22	火	2	18	0	0	50	22	金	0	0	0	0	30	22	日	52	50	0	2	50
23	月	-	-	-	-	-	23	水	21	8	0	2	50	23	土	13	13	0	0	50	23	月	8	7	1	0	30
24	火	-	-	-	-	-	24	木	8	4	0	1	50	24	日	5	5	0	0	50	24	火	13	11	2	2	30
25	水	-	-	-	-	-	25	金	8	8	0	0	50	25	月	2	1	1	0	30	25	水	11	10	0	0	30
26	木	-	-	-	-	-	26	土	69	64	0	3	100	26	火	0	0	0	0	30	26	木	1	0	0	0	30
27	金	2	5	0	0	50	27	日	25	25	2	0	100	27	水	0	0	0	0	30	27	金	4	2	0	2	30
28	土	4	9	0	0	100	28	月	39	54	1	0	50	28	木	0	0	0	0	30	28	土	15	26	0	0	50
29	日	21	19	0	0	100	29	火	28	24	2	10	50	29	金	0	0	0	0	30	29	日	20	9	0	0	50
30	月	15	11	0	0	100	30	水	31	5	2	0	50	30	土	2	4	0	0	50	30	月	0	2	0	0	30
31	-	-	-	-	-	-	31	木	0	1	0	0	50	31	-	-	-	-	-	-	31	火	2	6	0	0	30
計		42	44	0	0	350	計		519	465	13	42	2,050	計		281	248	9	25	1,600	計		198	183	4	15	1,130

8月						9月						10月						11月									
日	曜日	認定者数	受講者数	免除者数	キャンセル数	上限	日	曜日	認定者数	受講者数	免除者数	キャンセル数	上限	日	曜日	認定者数	受講者数	免除者数	キャンセル数	上限	日	曜日	認定者数	受講者数	免除者数	キャンセル数	上限
1	水	8	18	0	2	30	1	土	4	5	0	2	50	1	月	0	0	0	0	50	1	木	50	60	2	1	50
2	木	28	5	1	4	30	2	日	11	16	0	0	50	2	火	0	3	0	0	50	2	金	31	13	0	2	50
3	金	5	8	0	0	30	3	月	10	4	0	0	30	3	水	9	4	2	0	50	3	土	99	90	10	7	100
4	土	8	10	0	0	50	4	火	4	3	1	0	30	4	木	0	3	0	0	50	4	日	87	95	8	4	100
5	日	7	2	0	0	50	5	水	0	0	0	0	30	5	金	10	11	0	0	50	5	月	30	4	0	2	30
6	月	0	0	0	0	30	6	木	1	0	0	1	30	6	土	56	65	3	4	100	6	火	20	23	3	1	30
7	火	9	8	0	1	30	7	金	8	10	0	0	30	7	日	51	29	2	5	100	7	水	15	4	0	1	30
8	水	8	6	1	1	30	8	土	7	3	0	2	50	8	月	43	45	0	1	100	8	木	3	7	0	0	30
9	木	1	1	0	0	30	9	日	13	7	2	6	50	9	火	18	11	0	1	50	9	金	6	2	0	0	30
10	金	0	4	0	0	30	10	月	4	2	0	0	30	10	水	8	8	2	0	50	10	土	14	12	1	4	50
11	土	21	17	0	2	100	11	火	0	0	0	0	30	11	木	9	13	0	0	50	11	日	15	10	0	2	50
12	日	26	23	0	3	100	12	水	6	5	1	0	30	12	金	23	14	0	1	50	12	月	0	0	0	0	30
13	月	5	3	0	0	50	13	木	1	0	1	0	30	13	土	28	29	2	0	100	13	火	8	6	0	2	30
14	火	2	0	0	2	50	14	金	2	2	0	0	30	14	日	40	36	0	2	100	14	水	7	5	0	2	30
15	水	2	2	0	0	50	15	土	41	42	1	1	50	15	月	12	30	0	0	50	15	木	3	0	0	3	30
16	木	14	14	0	0	50	16	日	41	37	5	4	50	16	火	43	26	2	0	50	16	金	5	0	1	4	30
17	金	3	5	0	0	50	17	月	19	5	0	6	30	17	水	18	8	2	4	50	17	土	35	34	0	9	50
18	土	11	11	0	0	100	18	火	0	0	0	0	30	18	木	8	1	3	4	50	18	日	25	14	0	3	50
19	日	11	9	0	0	100	19	水	3	5	0	0	30	19	金	13	15	1	1	50	19	月	6	1	4	1	30
20	月	2	4	0	0	30	20	木	4	1	1	0	30	20	土	92	77	13	2	100	20	火	0	0	0	0	30
21	火	4	2	0	0	30	21	金	4	3	1	0	30	21	日	54	57	1	2	100	21	水	0	0	0	0	30
22	水	0	2	0	0	30	22	土	7	20	3	0	100	22	月	40	24	2	4	50	22	木	0	0	0	0	30
23	木	14	22	0	0	30	23	日	28	12	6	2	100	23	火	15	12	1	2	50	23	金	10	14	0	0	50
24	金	12	0	2	0	30	24	月	10	2	1	0	50	24	水	23	23	0	5	50	24	土	17	13	0	0	50
25	土	17	16	0	1	50	25	火	3	2	0	2	50	25	木	14	9	0	0	50	25	日	4	2	0	2	50
26	日	33	28	0	2	50	26	水	7	5	0	0	50	26	金	13	19	0	0	50	26	月	1	1	0	0	30
27	月	8	9	0	0	30	27	木	10	9	0	1	50	27	土	88	119	4	5	100	27	火	0	0	0	0	30
28	火	1	0	0	0	30	28	金	2	2	0	0	50	28	日	86	14	8	18	100	28	水	0	0	0	0	30
29	水	5	4	1	0	30	29	土	19	17	0	2	100	29	月	36	39	2	0	50	29	木	0	0	0	0	30
30	木	2	2	0	0	30	30	日	6	0	0	6	100	30	火	19	12	0	0	50	30	金	0	0	0	0	30
31	金	3	3	0	0	30	-	-	-	-	-	-	-	31	水	34	32	2	3	50	-	-	-	-	-	-	
計		270	238	5	18	1,390	計		275	219	23	35	1,400	計		903	788	52	64	2,000	計		491	410	29	50	1,220

注1) 認定者数：当日の認定者数、受講者数：レクチャーを受けた人数、免除者数：レ

## 1-2. 利用調整地区の利用者意識

### (1) 利用者意識に関するアンケート調査

利用調整地区の利用者を対象に利用者意識の把握を目的としたアンケート調査を下記の通り実施した。

#### ① 調査方法

期 間：平成 24 年 4 月 27 日(金)～11 月 30 日(金) (218 日間)

配布部数：1,930 部

配布方法：事前レクチャー受講者にふれあいコーディネーターが配布

回収方法：1) 現地回収 (大台ヶ原ビジターセンター)

2) 郵送回収 (配布時に一緒に渡した返送用封筒による)

主な質問項目

- ・利用者情報
- ・団体ツアー・個人 (団体ツアー以外) の別
- ・交通手段
- ・来訪回数
- ・入山前に大台ヶ原ビジターセンターで受けたレクチャーについて
- ・西大台利用調整地区を知ったきっかけ
- ・行動内容
- ・満足度
- ・印象に残ったこと
- ・再訪の意向
- ・携帯用トイレブースの設置の意向

#### ② 回収状況

本調査においては、1,930 件の調査票を配布し、659 件 (回収率 34.1%) の回答を得た。また、回収方法の内訳は下記の通りであった。

表 5：回収状況

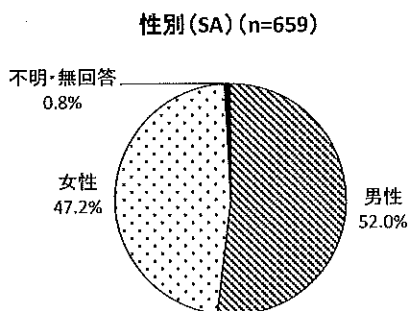
項目	回答数	割合 (%)
現地回収	105	15.9
郵送回収	554	84.1
合計	659	100.0

#### ③ 集計結果 (単純集計)

##### i 回答者属性

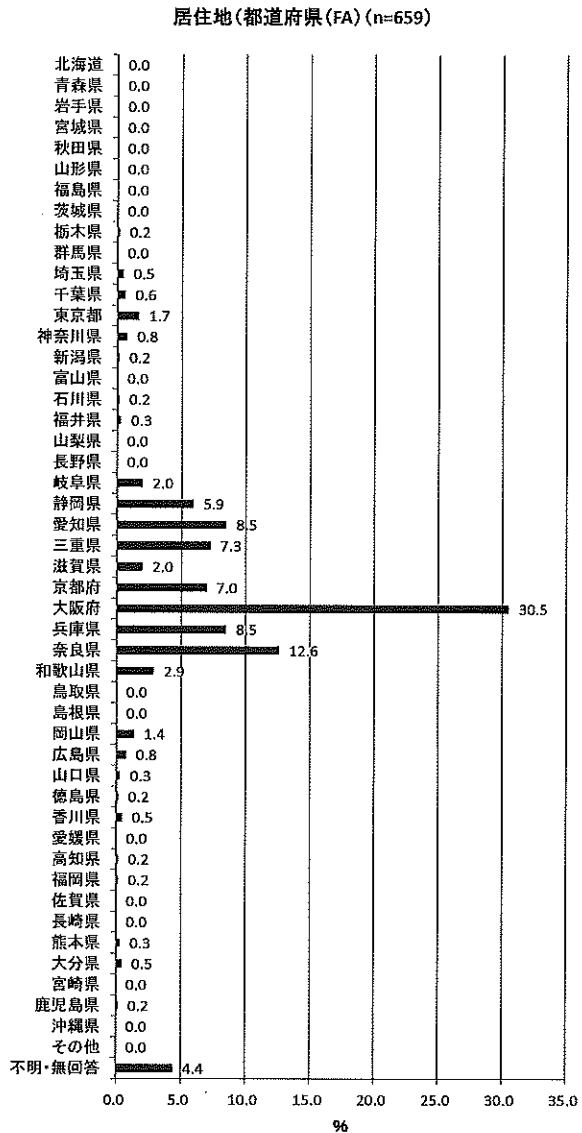
##### a) 性別

No.	カテゴリ	実数	%
1	男性	343	52.0
2	女性	311	47.2
	不明・無回答	5	0.8
	計	659	100.0



b) 居住地（都道府県）

居住地(都道府県)(FA)			
No.	カテゴリ	実数	%
1	北海道	0	0.0
2	青森県	0	0.0
3	岩手県	0	0.0
4	宮城県	0	0.0
5	秋田県	0	0.0
6	山形県	0	0.0
7	福島県	0	0.0
8	茨城県	0	0.0
9	栃木県	1	0.2
10	群馬県	0	0.0
11	埼玉県	3	0.5
12	千葉県	4	0.6
13	東京都	11	1.7
14	神奈川県	5	0.8
15	新潟県	1	0.2
16	富山県	0	0.0
17	石川県	1	0.2
18	福井県	2	0.3
19	山梨県	0	0.0
20	長野県	0	0.0
21	岐阜県	13	2.0
22	静岡県	39	5.9
23	愛知県	56	8.5
24	三重県	48	7.3
25	滋賀県	13	2.0
26	京都府	46	7.0
27	大阪府	201	30.5
28	兵庫県	56	8.5
29	奈良県	83	12.6
30	和歌山県	19	2.9
31	鳥取県	0	0.0
32	島根県	0	0.0
33	岡山県	9	1.4
34	広島県	5	0.8
35	山口県	2	0.3
36	徳島県	1	0.2
37	香川県	3	0.5
38	愛媛県	0	0.0
39	高知県	1	0.2
40	福岡県	1	0.2
41	佐賀県	0	0.0
42	長崎県	0	0.0
43	熊本県	2	0.3
44	大分県	3	0.5
45	宮崎県	0	0.0
46	鹿児島県	1	0.2
47	沖縄県	0	0.0
48	その他	0	0.0
	不明・無回答	29	4.4
	計	659	100.0

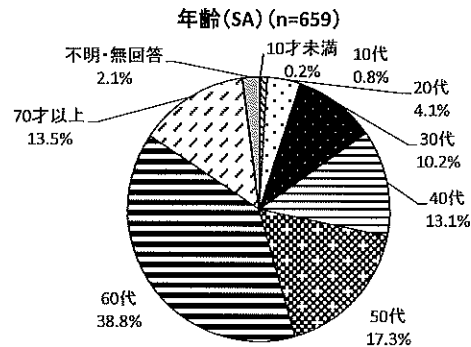


【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

「大阪府 (31.4%)」「奈良県 (18.1%)」「兵庫県 (11.0%)」「愛知県 (5.7%)」「京都府 (5.5%)」

c) 年齢

年齢(SA)			
No.	カテゴリ	実数	%
1	10才未満	1	0.2
2	10代	5	0.8
3	20代	27	4.1
4	30代	67	10.2
5	40代	86	13.1
6	50代	114	17.3
7	60代	256	38.8
8	70才以上	89	13.5
	不明・無回答	14	2.1
	計	659	100.0

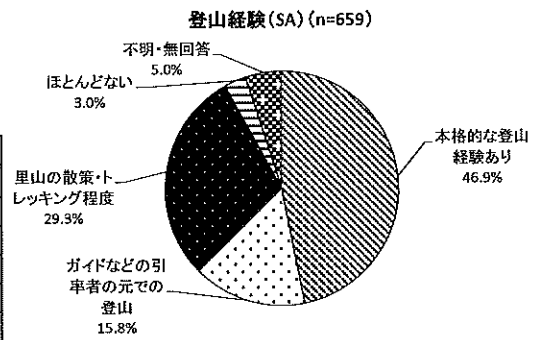


【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

「60代 (35.0%)」「50代 (19.0%)」

d) 登山経験

No.	カテゴリ	実数	%
1	本格的な登山経験あり	309	46.9
2	ガイドなどの引率者の元での登山	104	15.8
3	里山の散策・トレッキング程度	193	29.3
4	ほとんどない	20	3.0
	不明・無回答	33	5.0
	計	659	100.0

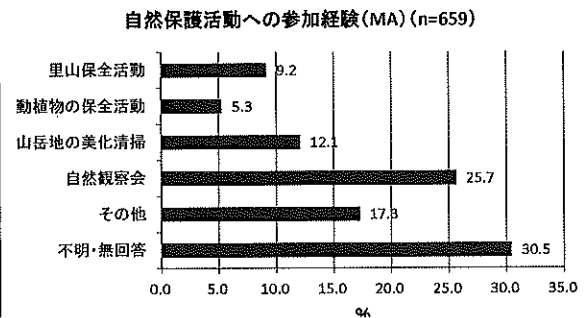


【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

「本格的な登山の経験あり (46.9%)」「里山の散策・トレッキング程度 (32.4%)」

e) 自然保護活動への参加経験

No.	カテゴリ	実数	%
1	里山保全活動	69	9.2
2	動植物の保全活動	40	5.3
3	山岳地の美化清掃	91	12.1
4	自然観察会	193	25.7
5	その他	130	17.3
	不明・無回答	229	30.5
	対象	659	-

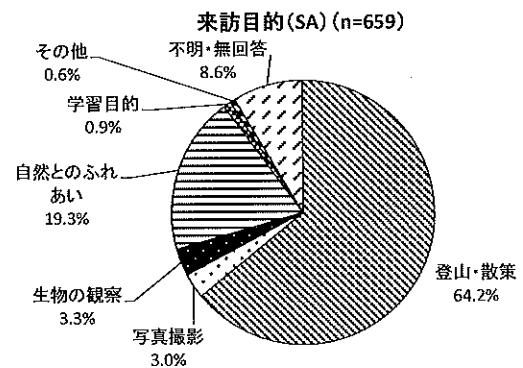


【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

「自然観察会 (19.7%)」「山岳地の美化清掃 (9.1%)」「里山保護活動 (6.8%)」

f) 主な来訪目的

No.	カテゴリ	実数	%
1	登山・散策	423	64.2
2	写真撮影	20	3.0
3	生物の観察	22	3.3
4	自然とのふれあい	127	19.3
5	学習目的	6	0.9
6	その他	4	0.6
	不明・無回答	57	8.6
	計	659	100.0



【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

「登山・散策 (62.6%)」「自然とのふれあい (20.2%)」

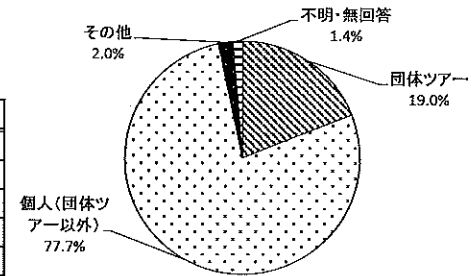
ii 利用形態

a) 団体ツアー・個人（団体ツアー以外）の別

団体ツアー・個人（団体ツアー以外）の別(SA)

No.	カテゴリ	実数	%
1	団体ツアー	125	19.0
2	個人(団体ツアー以外)	512	77.7
3	その他	13	2.0
	不明・無回答	9	1.4
	計	659	100.0

団体ツアー・個人(団体ツアー以外)の別(SA) (n=659)



【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

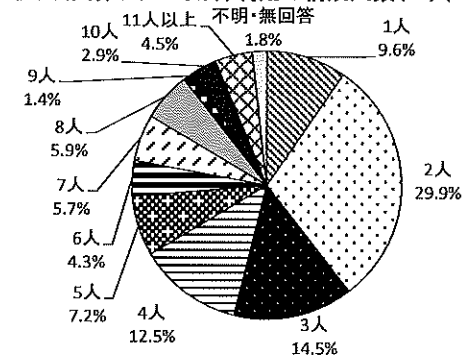
「個人（団体ツアー以外）(79.3%)」「団体ツアー (20.2%)」

b) 個人（団体ツアー以外）利用の構成人員

個人(団体ツアー以外)利用の構成人数(FA)

No.	カテゴリ	実数	%
1	1人	49	9.6
2	2人	153	29.9
3	3人	74	14.5
4	4人	64	12.5
5	5人	37	7.2
6	6人	22	4.3
7	7人	29	5.7
8	8人	30	5.9
9	9人	7	1.4
10	10人	15	2.9
11	11人以上	23	4.5
	不明・無回答	9	1.8
	計	512	100.0

個人(団体ツアー以外)利用の構成人数(FA) (n=512)



【平成 23 年度アンケート調査結果 (n=333)】 (概要)

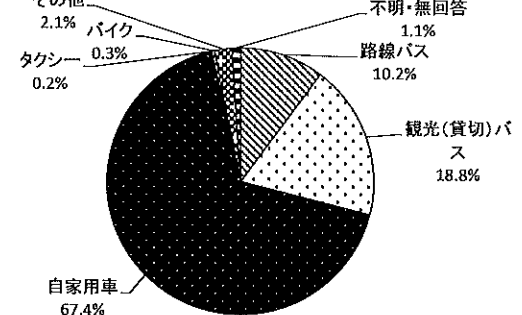
「2人 (36.0%)」「4人 (13.5%)」「3人 (13.2%)」

iii 交通手段

交通手段(SA)

No.	カテゴリ	実数	%
1	路線バス	67	10.2
2	観光(貸切)バス	124	18.8
3	自家用車	444	67.4
4	タクシー	1	0.2
5	バイク	2	0.3
6	その他	14	2.1
	不明・無回答	7	1.1
	計	659	100.0

交通手段(SA) (n=659)



【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

「自家用車 (65.5%)」「観光 (貸切) バス (17.6%)」「路線バス (14.3%)」



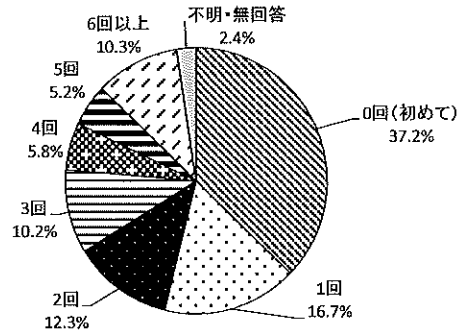
iv 来訪回数

a) 大台ヶ原への来訪回数

大台ヶ原への来訪回数(FA)

No.	カテゴリ	実数	%
1	0回(初めて)	245	37.2
2	1回	110	16.7
3	2回	81	12.3
4	3回	67	10.2
5	4回	38	5.8
6	5回	34	5.2
7	6回以上	68	10.3
	不明・無回答	16	2.4
	計	659	100.0

大台ヶ原への来訪回数(FA) (n=659)



【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

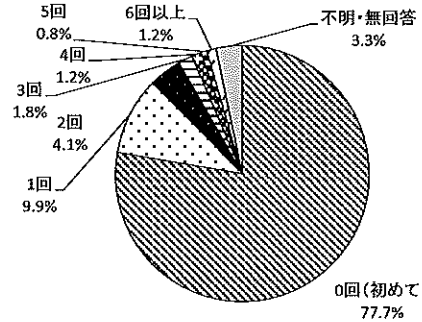
「0回(初めて) (35.5%)」「1回 (15.7%)」「2回 (15.7%)」

b) 西大台地区への来訪回数

西大台地区への来訪回数(FA)

No.	カテゴリ	実数	%
1	0回(初めて)	512	77.7
2	1回	65	9.9
3	2回	27	4.1
4	3回	12	1.8
5	4回	8	1.2
6	5回	5	0.8
7	6回以上	8	1.2
	不明・無回答	22	3.3
	計	659	100.0

西大台地区への来訪回数(FA) (n=659)



【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

「0回(初めて) (74.3%)」「1回 (11.0%)」

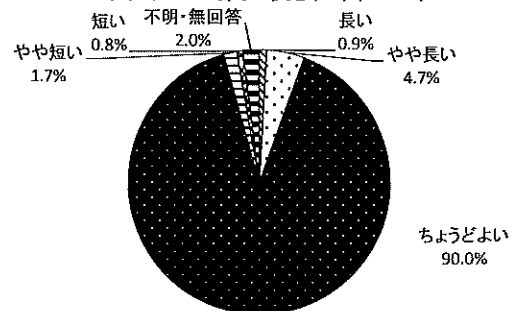
v 事前レクチャーについて

a) レクチャーの時間の長さ

レクチャーの時間の長さ(SA)

No.	カテゴリ	実数	%
1	長い	6	0.9
2	やや長い	31	4.7
3	ちょうどよい	593	90.0
4	やや短い	11	1.7
5	短い	5	0.8
	不明・無回答	13	2.0
	計	659	100.0

レクチャーの時間の長さ(SA) (n=659)



【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

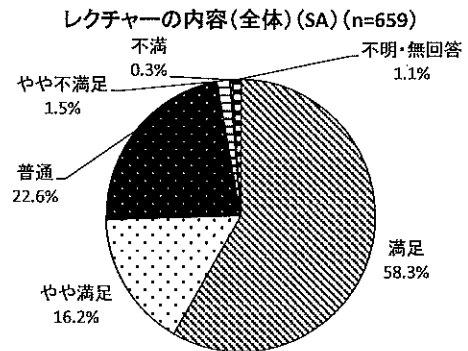
「ちょうどよい (75.5%)」「やや長い (6.4%)」「やや短い (3.3%)」

b) レクチャーの内容

あ) 全体

レクチャーの内容(全体)(SA)

No.	カテゴリ	実数	%
1	満足	384	58.3
2	やや満足	107	16.2
3	普通	149	22.6
4	やや不満足	10	1.5
5	不満	2	0.3
	不明・無回答	7	1.1
	計	659	100.0



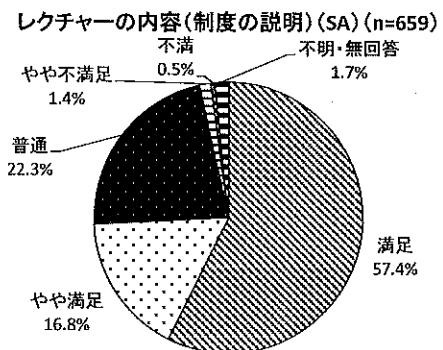
【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

「満足 (46.9%)」「やや満足 (20.5%)」「普通 (19.3%)」

い) 制度の説明

レクチャーの内容(制度の説明)(SA)

No.	カテゴリ	実数	%
1	満足	378	57.4
2	やや満足	111	16.8
3	普通	147	22.3
4	やや不満足	9	1.4
5	不満	3	0.5
	不明・無回答	11	1.7
	計	659	100.0



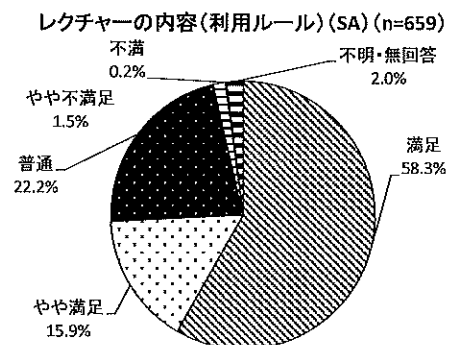
【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

「満足 (47.6%)」「普通 (22.4%)」「やや満足 (16.7%)」

う) 利用ルール

レクチャーの内容(利用ルール)(SA)

No.	カテゴリ	実数	%
1	満足	384	58.3
2	やや満足	105	15.9
3	普通	146	22.2
4	やや不満足	10	1.5
5	不満	1	0.2
	不明・無回答	13	2.0
	計	659	100.0



【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

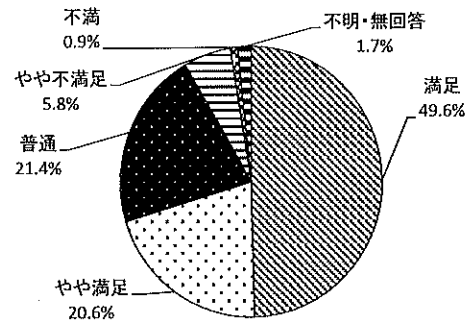
「満足 (46.9%)」「普通 (24.3%)」「やや満足 (15.2%)」

え) 見所の解説

レクチャーの内容(見所の解説)(SA)

No.	カテゴリ	実数	%
1	満足	327	49.6
2	やや満足	136	20.6
3	普通	141	21.4
4	やや不満足	38	5.8
5	不満	6	0.9
	不明・無回答	11	1.7
	計	659	100.0

レクチャーの内容(見所の解説)(SA) (n=659)



【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

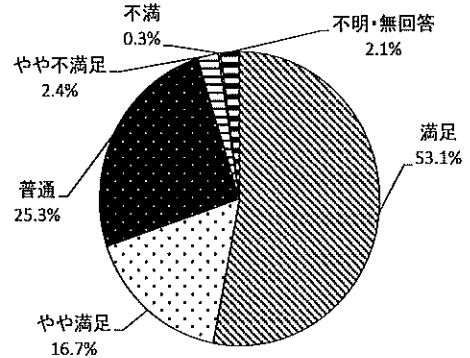
「満足 (38.3%)」「普通 (23.1%)」「やや満足 (19.3%)」

お) 安全の説明

レクチャーの内容(安全の説明)(SA)

No.	カテゴリ	実数	%
1	満足	350	53.1
2	やや満足	110	16.7
3	普通	167	25.3
4	やや不満足	16	2.4
5	不満	2	0.3
	不明・無回答	14	2.1
	計	659	100.0

レクチャーの内容(安全の説明)(SA) (n=659)



【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

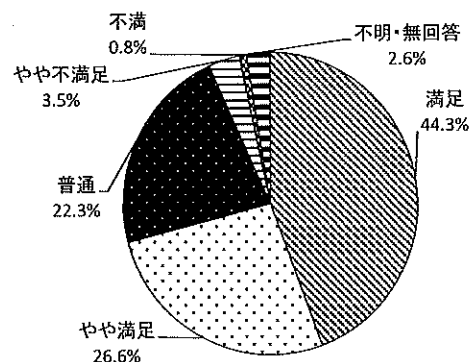
「満足 (41.9%)」「普通 (26.9%)」「やや満足 (14.8%)」

c) 冊子の内容

冊子の内容(SA)

No.	カテゴリ	実数	%
1	満足	292	44.3
2	やや満足	175	26.6
3	普通	147	22.3
4	やや不満足	23	3.5
5	不満	5	0.8
	不明・無回答	17	2.6
	計	659	100.0

冊子の内容(SA) (n=659)



【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

「満足 (49.5%)」「やや満足 (25.5%)」「普通 (17.1%)」

d) レクチャー・冊子に関する不満な点・改善すべき点

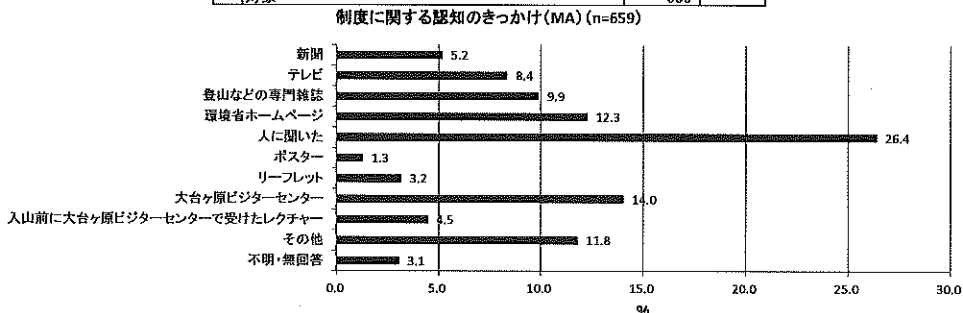
回答事項	性別	年齢
マップをもう少し詳しく見所、植物の説明等あれば、尚良い。	女性	10才未満
説明が早口だったので、もう少しゆっくり間をおいてほしかった。	女性	50代
具体的な危険箇所、危険動植物があればご教示下さい。	男性	50代
主な見所、特に生物、鳥等を教えてほしい。(その主な場所)	男性	60代
自然保護の重要性を中心とした説明にたほほうが良い。	男性	70才以上
トイレの場所が一箇所というのは少ない。トイレ利用の説明が不十分。	女性	60代
地図がもう少し詳しくれば、より良かった。	男性	30代
6・7頁の地図は登山中、度々出して見られる様、一枚閉じにしてほしい。	男性	70才以上
P6ページ下の西大台周遊コースの表が解りにくかった。	男性	50代
本などで登山道を調べると東大台しか載っておらず、インターネットでも中々良い地図がなく「西大台利用調整地区ガイド」は良い地図で良かった。	女性	40代
地図に時間が直接記入されていると、もっと良い。	男性	60代
東大台より登山道的な要素が多く、徒渉も数回あるので登山経験の少ない人にはつらい道りであることも考えられます。展望台往復を含めた周回距離は約10kmありました。周囲にこだわらず、体力を考え途中から引き返すことも選択肢の一つとして、説明されてはいいかがでしょうか。	男性	60代
毎年一回というのはいかがなものか？2、3年に一度でいいと思う。	女性	50代
不満はないが、ルート案内看板が不十分で迷いかけた所あり。	男性	70才以上
レクチャーで受けた環境の場所名が、配布された冊子の地図にない。	女性	60代
今回だけでは無いが、利用ルールを守れない人が多い。レクチャーは利用ルールに重点を置いたものに改善が必要。	男性	70才以上
季節別に見れる植物、動物を分けてほしい。	男性	50代
山歩きをする人にとっては当然のルールです。教えて、レクチャー等は必要ないと思います。	男性	60代
他の登山者がバーナーを使用しているのを見て、火気厳禁だと思っていたので驚きました。レクチャーでバーナー使用可であることをお知らせ頂けたらありがたいです。	女性	40代
コース及び地図にキロ数を設置、又は記載して欲しい。コースのどの地点にしているのが判らなかつた。	男性	無回答

e) レクチャーの時間割(開始時刻など)に関する意見

回答事項	性別	年齢
早朝からレクチャーして頂いてありがたいです。	女性	50代
緊急(予定時間外)に対応して頂きましたありがとうございます。	男性	40代
質問も出来て、時間も観度良いです。	男性	60代
もう少し早く開始して欲しい。散策時間を長くしてくれるから。	女性	60代
入山前に到着したのが6時だったので、前日の最終レクチャーがもう少し遅い時間(5時~5時半とか)だと受講できるのになと思いました。	男性	50代
天気が良ければ、日出る毎で日の出を見てからビジターセンターに入ります。もっと早い時間(7時半~)を希望します。	男性	40代
ビジターセンターの開業が9時、レクチャーが8時半~9時でしたが、車の中で9時を待っていました。一行、説明書に開業前でもやっています、との注意書きが欲しかった。	男性	60代
もっと早い時間があれば良い。	男性	70才以上
東大台を回って帰ってから受けるのに、最終が4時では早すぎます。大和上市からバスで大台に来る場合は無理です。	女性	60代
団体の中でレクチャー受講経験者が居れば、受講を免除して欲しい。	男性	60代
バスが到着するジャストタイミングで行って下さったらさらに素晴らしいと思います。	男性	60代
路線バスの到着時間に合わせる等、強力的に実施して欲しい。	男性	70才以上
「本日のレクチャー ○回~○(時間)から」とドアにでも貼付してもらえると、聞きに来て判りやすいのではないですか。	女性	20代
遠方から行く場合、日中は歩きたいので、時間外制度を作って下さると、もっと気軽に行けると思います。	女性	60代
時間通りに来なかった人はいけない。開始が5分遅く遅れた。	男性	70才以上
バス到着時刻に合わせるべき。	男性	30代
将来的に、上高地のように一般車両の立入を禁止にしてもらいたい。すると、レクチャーの時間もそれらの乗り入れに合わせて、してもらいたい。今回バスで11時ごろに到着、11時半東コース一周スタート→16時半からレクチャーでしたが、レクチャーに間に合うように帰らねば...と気持ち焦り、ゆっくり東コースを歩けなかつた。	女性	20代
自立的、行程の都合で、当日はキツイ。ネットなどを利用して、レクチャーを受けたい。	男性	50代

vi 西大台利用調整地区を知ったきっかけ

No.   カテゴリ	実数	%	
1	新聞	44	5.2
2	テレビ	71	8.4
3	登山などの専門雑誌	84	9.9
4	環境省ホームページ	104	12.3
5	人に聞いた	224	26.4
6	ポスター	11	1.3
7	リーフレット	27	3.2
8	大台ヶ原ビジターセンター	119	14.0
9	入山前に大台ヶ原ビジターセンターで受けたレクチャー	38	4.5
10	その他	100	11.8
	不明・無回答	26	3.1
	対象	659	-



【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

「人に聞いた (29.4%)」「環境省ホームページ (15.1%)」「大台ヶ原ビジターセンター (12.4%)」「登山などの専門雑誌 (11.7%)」

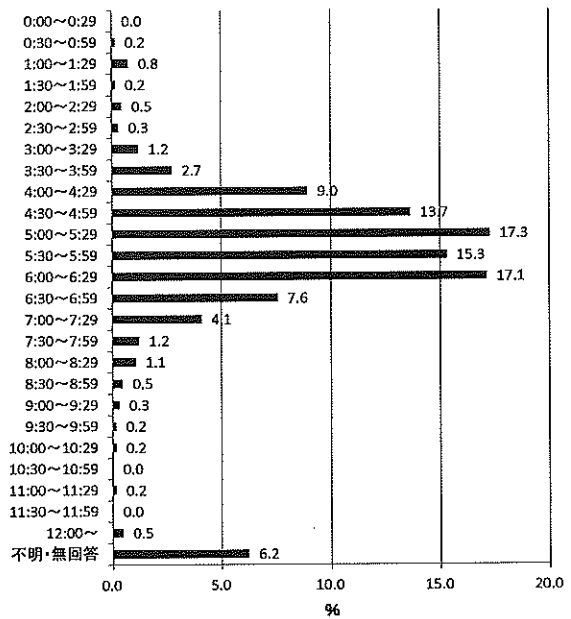
vii 行動内容

a) 滞在時間

西大台利用調整地区の滞在時間(FA)

No.	カテゴリ	実数	%
1	0:00~0:29	0	0.0
2	0:30~0:59	1	0.2
3	1:00~1:29	5	0.8
4	1:30~1:59	1	0.2
5	2:00~2:29	3	0.5
6	2:30~2:59	2	0.3
7	3:00~3:29	8	1.2
8	3:30~3:59	18	2.7
9	4:00~4:29	59	9.0
10	4:30~4:59	90	13.7
11	5:00~5:29	114	17.3
12	5:30~5:59	101	15.3
13	6:00~6:29	113	17.1
14	6:30~6:59	50	7.6
15	7:00~7:29	27	4.1
16	7:30~7:59	8	1.2
17	8:00~8:29	7	1.1
18	8:30~8:59	3	0.5
19	9:00~9:29	2	0.3
20	9:30~9:59	1	0.2
21	10:00~10:29	1	0.2
22	10:30~10:59	0	0.0
23	11:00~11:29	1	0.2
24	11:30~11:59	0	0.0
25	12:00~	3	0.5
	不明・無回答	41	6.2
計		659	100.0

西大台利用調整地区の滞在時間(FA) (n=659)



【平成23年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

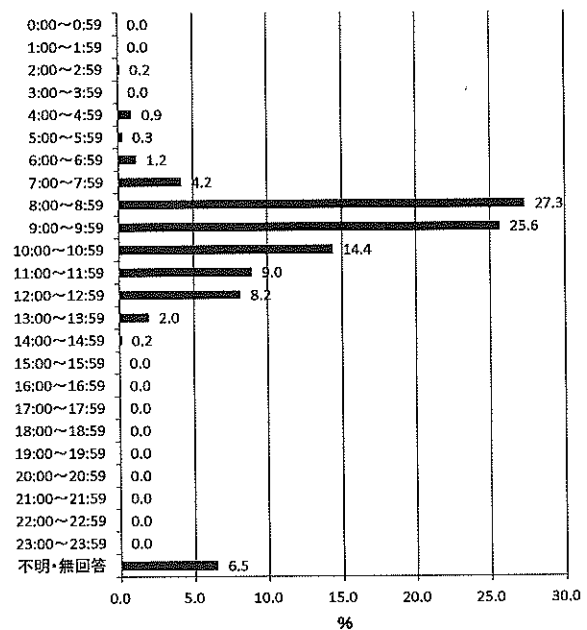
「5:00~5:30 (17.1%)」「4:30~5:00(14.0%)」「4:00~4:30(13.6%)」「6:00~6:30(12.9%)」  
 「5:30~6:00 (11.7%)」

b) 入山時刻

西大台利用調整地区の入山時刻(FA)

No.	カテゴリ	実数	%
1	0:00~0:59	0	0.0
2	1:00~1:59	0	0.0
3	2:00~2:59	1	0.2
4	3:00~3:59	0	0.0
5	4:00~4:59	6	0.9
6	5:00~5:59	2	0.3
7	6:00~6:59	8	1.2
8	7:00~7:59	28	4.2
9	8:00~8:59	180	27.3
10	9:00~9:59	169	25.6
11	10:00~10:59	95	14.4
12	11:00~11:59	59	9.0
13	12:00~12:59	54	8.2
14	13:00~13:59	13	2.0
15	14:00~14:59	1	0.2
16	15:00~15:59	0	0.0
17	16:00~16:59	0	0.0
18	17:00~17:59	0	0.0
19	18:00~18:59	0	0.0
20	19:00~19:59	0	0.0
21	20:00~20:59	0	0.0
22	21:00~21:59	0	0.0
23	22:00~22:59	0	0.0
24	23:00~23:59	0	0.0
	不明・無回答	43	6.5
計		659	100.0

西大台利用調整地区の入山時刻(FA) (n=659)



【平成23年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

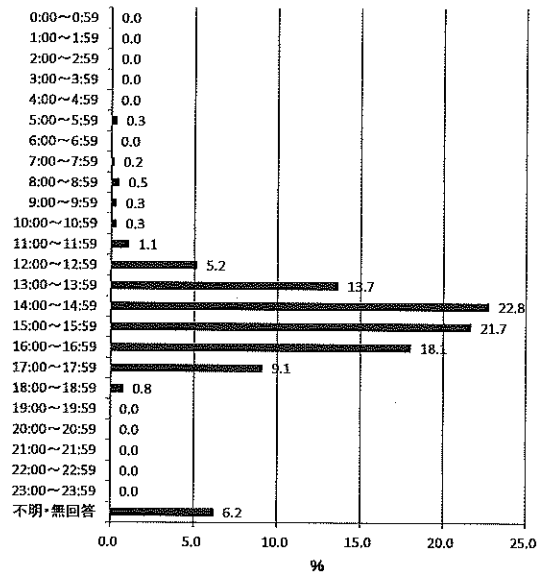
「9時台 (23.3%)」「10時台 (20.7%)」「8時台 (18.8%)」「11時台 (13.6%)」

c) 下山時刻

西大台利用調整地区の下山時刻(FA)

No.	カテゴリ	実数	%
1	0:00~0:59	0	0.0
2	1:00~1:59	0	0.0
3	2:00~2:59	0	0.0
4	3:00~3:59	0	0.0
5	4:00~4:59	0	0.0
6	5:00~5:59	2	0.3
7	6:00~6:59	0	0.0
8	7:00~7:59	1	0.2
9	8:00~8:59	3	0.5
10	9:00~9:59	2	0.3
11	10:00~10:59	2	0.3
12	11:00~11:59	7	1.1
13	12:00~12:59	34	5.2
14	13:00~13:59	90	13.7
15	14:00~14:59	150	22.8
16	15:00~15:59	143	21.7
17	16:00~16:59	119	18.1
18	17:00~17:59	60	9.1
19	18:00~18:59	5	0.8
20	19:00~19:59	0	0.0
21	20:00~20:59	0	0.0
22	21:00~21:59	0	0.0
23	22:00~22:59	0	0.0
24	23:00~23:59	0	0.0
	不明・無回答	41	6.2
計		659	100.0

西大台利用調整地区の下山時刻(FA) (n=659)



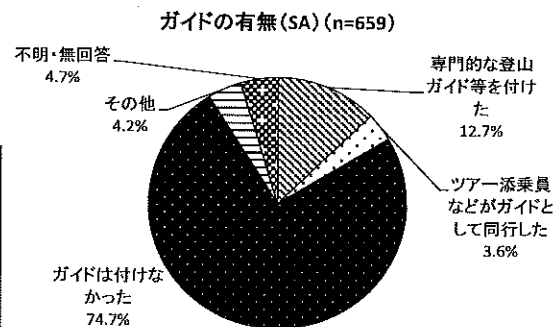
【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

「15 時台 (24.3%)」「16 時台 (22.4%)」「14 時台 (21.0%)」

d) ガイドの有無

ガイドの有無(SA)

No.	カテゴリ	実数	%
1	専門的な登山ガイド等を付けた	84	12.7
2	ツアー添乗員などがガイドとして同行した	24	3.6
3	ガイドは付けなかった	492	74.7
4	その他	28	4.2
	不明・無回答	31	4.7
計		659	100.0



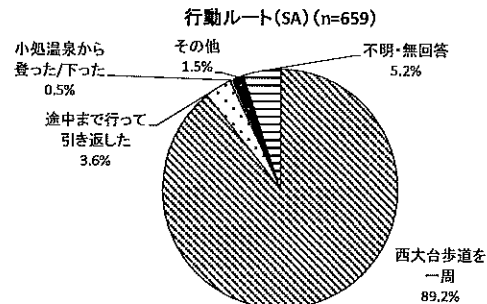
【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

「ガイドは付けなかった (79.0%)」「専門的な登山ガイド等を付けた (14.3%)」

e) 行動ルート

行動ルート(SA)

No.	カテゴリ	実数	%
1	西大台歩道を一周	588	89.2
2	途中まで行って引き返した	24	3.6
3	小処温泉から登った/下った	3	0.5
4	その他	10	1.5
	不明・無回答	34	5.2
計		659	100.0



【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

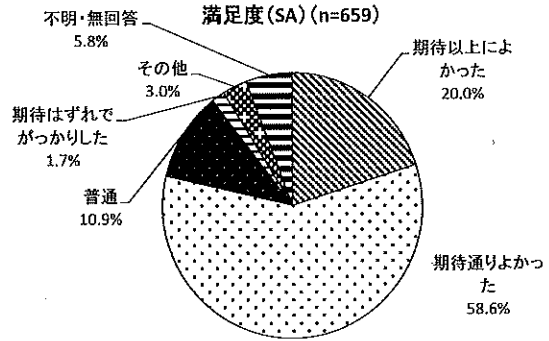
「西大台歩道を一周 (90.2%)」「途中まで行って引き返した (5.5%)」

f) 引き返した理由

回答事項	性別	年齢
天候不良と体調から。	男性	60代
雨が危険を感じた。	男性	60代
時間の配分で最初から引き返す計画であった。	女性	60代
観察しながら5時間で全部回れるのはトイレのことを考えるとできない。	男性	60代
川の水かさが増えている。迷いやすいところを避けるなども理由である。		
前日の雨の為、足元が悪かった為。	男性	70才以上
雨天の為、中止した。	女性	40代
時間的制約	女性	60代
時間的制約(トイレがないので)	女性	50代
厚着を山荘でとるので戻った。	女性	60代
強い雨になった。	男性	60代
(引き返していないが)大雨の為、沢渡りが心配だった。増水などの情報があると安心し、ゆっくり観察が可能なのだが、	男性	70才以上
ゆっくりすぎ、帰りの時間を考え、もう半分は又の機会を楽しみました。	女性	70才以上
大雨で沢が増水していて、全てのルートに行くのは危険と判断した為。	女性	20代
雨が強くなった。沢の水量が短時間で増えている危険を感じたから。	女性	20代
先に東の頂上に行き、その後、西太倉に入ったので、時間の余裕がなかった為。	女性	60代
時間不十分の為	女性	30代
時間が足りなかった。	男性	70才以上
グループで歩きましたが年のせいか置ベースが異なっていたので道に出ました。	女性	70才以上
2班に別れたその中で足の遅い私は、一番最後にくっついて歩きました。先発隊でなくて良かったと思っています。コースを変えていただいで有りが		
たかった。	女性	70才以上
写真撮影に時間を取られた為。	男性	70才以上
バスの時刻。	女性	20代
沢が濡れなかった為。	男性	10代
雨がひどくなってきたので。	女性	40代
大雨で川が増水し、渡渉不可の為。	男性	40代
時間が短い為	女性	40代

viii 満足度

No.	カテゴリ	実数	%
1	期待以上に良かった	132	20.0
2	期待通りよかった	386	58.6
3	普通	72	10.9
4	期待はずれでがっかりした	11	1.7
5	その他	20	3.0
	不明・無回答	38	5.8
	計	659	100.0



【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

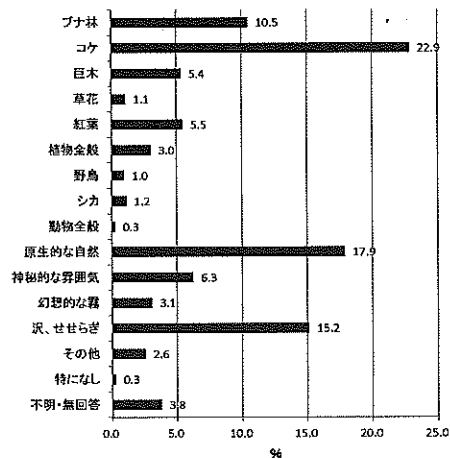
「期待通りよかった (51.2%)」「期待以上に良かった (22.1%)」

ix 印象に残ったこと

印象に残ったこと(MA、3つまで)

No.	カテゴリ	実数	%
1	ブナ林	180	10.5
2	コケ	391	22.9
3	巨木	92	5.4
4	草花	19	1.1
5	紅葉	94	5.5
6	植物全般	52	3.0
7	野鳥	17	1.0
8	シカ	20	1.2
9	動物全般	5	0.3
10	原生的な自然	306	17.9
11	神秘的な雰囲気	107	6.3
12	幻想的な霧	53	3.1
13	沢、せせらぎ	259	15.2
14	その他	44	2.6
15	特になし	5	0.3
	不明・無回答	65	3.8
	対象	659	-

印象に残ったこと(MA、3つまで) (n=659)



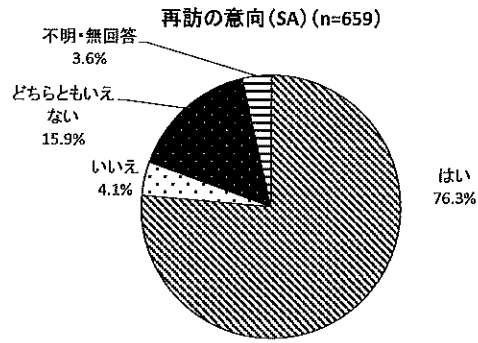
【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

「コケ (20.5%)」「原生的な自然 (18.5%)」「沢、せせらぎ (16.9%)」「ブナ林 (11.8%)」

x 再訪の意向

再訪の意向(SA)

No.	カテゴリ	実数	%
1	はい	503	76.3
2	いいえ	27	4.1
3	どちらともいえない	105	15.9
	不明・無回答	24	3.6
	計	659	100.0



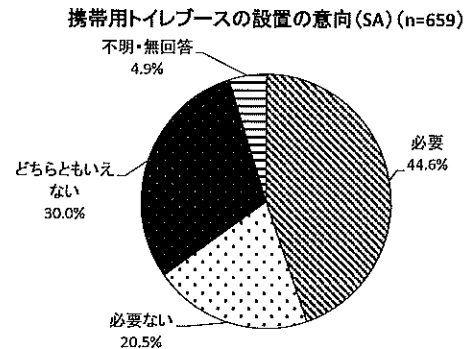
【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

「はい (76.4%)」「どちらともいえない (16.0%)」

xi 携帯用トイレブースの設置の意向について

携帯用トイレブースの設置の意向(SA)

No.	カテゴリ	実数	%
1	必要	294	44.6
2	必要ない	135	20.5
3	どちらともいえない	198	30.0
	不明・無回答	32	4.9
	計	659	100.0



【平成 23 年度アンケート調査結果 概要 (n=420)】

「必要 (38.6%)」「必要ない (31.2%)」「どちらともいえない (26.4%)」

xii 西大台利用調整地区全般に関する意見要望等

回答事項	性別	年齢
バスの時間がもっとあるといい、と思いました。(1日で東大台とまわれるため)	男性	40代
駐車料金を取ってはいかですか？(1日500円とか)その代わりにトイレを無料で使わせてはいいかでしょうか。	女性	10才未満
今のままの自然が破壊され続けたいことを願います。	女性	50代
監視員の方が親切に声掛けして下さって良かったです。西大台地区の案内板がもう少し詳しくてもいいかなどは思いました。	女性	20代
利用調整の制度は絡み出れるが、立入日を天気によって変更できない点を改善して欲しい。		
今回は晴れてラッキーでしたが、雨を思うとやばい。	男性	30代
是非、携帯用トイレブースの設置をお願いします。そうすれば、もっとゆとり西大台まわれます。		
途中監視員の方がおられて、とても安心でした。いろいろ教えてもらいました。	女性	50代
一回のレクチャーで2年か1年、立入認定が有効だといえる。レクチャーとても参考になりました。ありがとうございます。	女性	40代
入山までの手続きが煩雑すぎて、登山を躊躇してしまいます。	女性	60代
距離の標識が欲しい。		
入山規制が厳しすぎる。入山日を一日変更すると、申請書の再提出を求められ、入山料も再度必要だった。一日のずれくらいであれば、初めの立入認定書を許可すべきだと思う。	男性	70才以上
調整地区へ入る前、靴底を洗うマットは少々がっかりした。水も少なく、こんな状態で洗えるのかと思った。	女性	60代
標識は少ないと思った。		
立れにどうせ立てるなら、地名とあと何kmとざりげなく書いてくれるとトレッキングの励みになります。シンプルなのでいいです。	女性	40代
目安があるとうれしいのです。		
前日に予約が出来ればいいと思います。数日前だと天候がわからないから。	男性	30代
利用日が限定されてしまい、「雨で滑るので延期」等と考えることが出来ず、出かけることになってしまう。私たちの様な、中高年登山者は体調等も考慮すると、「停滞」もあって、「その日に登る(利用)」という「限定」がつくと厳しいものがある。	男性	60代
又、センターで登録、申請してその日に利用もあっていいと思う。		
今回一番感したのは、「自然のすばらしさ」はもちろんのこと、管理をされている方々の信頼です。レクチャーをして下さった女性の方、調整地区内で食べたガイドのみな、標識台で説明して下さいの方々、とても大台ぐ原に対する愛を感じます。ありがとうございました。	女性	60代
同じような講習を毎年する意味はあまりないと思います。		
監視強化されているように感じたが、それは当然かと。	女性	50代
入山料1000円はや高いと思います。(500円位?)		
総合より、入山出来なかった者に対する返金はすべきだと思う。	男性	60代
レクチャーでなるべく公共交通の利用して下さいの話があった。今回始発のバス(大朝上市発)で来て、最終15時発のバスで帰った。西大台での滞在時間が時間半ほどしかとれず、あまりゆとりと出来なかった。	女性	30代
マイカー規制しているなら、もう少しバスの始発時間を早くする+帰りは遅めの発車時間のバスがあると嬉しい。西大台が良い場所だけに残念です。		
オオサンショウウオのキャラクターが可愛かったです。キーホルダーやピンバッジ等のお土産があれば欲しいなと思いました。	女性	40代
コース途中で煙草を吸う方があり、是非とも禁止して頂きたい。	女性	60代
携帯用トイレを強制的に使用させるべき。		
1.トイレブースを、もう1~2か所ほしい。		
2.ガイドの冊子内容はいいが、内容を読む時間もないうちに歩かなければならない。(時間的余裕がないので)レクチャーはルールが殆ど、自然(動植物に関して)の解説が殆どない。帰ってからガイドブックを詳しく読み、いろいろ見落としをしたことを後悔している。ガイドブックは申込を受けた時点で配布できないか。	女性	70才以上
次は別の季節に、事前にインターネット等でよく調べてから訪れたい。		



### 1-3. 利用調整地区の利用施設

#### (1) 歩道状況調査

西大台利用調整地区内の歩道の複線化・洗掘状況等について、人の利用等による影響を継続的に把握し、利用調整の効果を検証するための基礎資料とすることを目的として、歩道状況調査を実施した。

#### ① 調査概要

##### a) 調査日時

平成24年11月25日(日)～28日(水)

##### b) 調査対象箇所

複線化箇所：30箇所(図1のM-1～30)

洗掘箇所：10箇所(図1のS-1～10)

※「複線化」及び「洗掘」の定義は以下のとおり。

表6：複線化・洗掘の定義

複線化：本来の歩道から分岐して、新たなルートが形成されている箇所。ただし、1本の樹木を迂回している場合等、小規模なものは除く。

洗掘：周辺地形に対する掘れ込みが50cm以上の箇所、または洗掘により連続的に石が露出している箇所。

##### c) 調査方法

###### i 基礎情報の記録

各地点について、以下の項目を記録した。

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 路線縦断勾配</li><li>・ 地質</li><li>・ 周辺植生(上層・下層)</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 複線化については推定される原因</li><li>・ 調査時点における荒廃状況</li></ul> |
|---|--|

###### ii 写真記録

継続的に撮影されている同一の地点・構図で写真を撮影し、記録した。

###### iii 現況模式図の作成

歩道及び複線の平面的な形状(延長はm単位で測定)、歩道周辺の主な樹木(樹種)、下層植生(主な種名)、裸地、岩石、倒木、洗掘箇所、崩落箇所等の分布状況を計測し(10cm単位)、現況模式図を作成した。また、周辺環境を含めて複線化・洗掘の状況を写真撮影により記録した。

###### iv 横断面図の作成

樹木等を目印に横断線を設定し、ポール横断測量により、横断勾配、複線の幅(10cm単位)等を計測し、横断面図を作成した。

## ② 調査結果

調査結果は、主に、歩道状況の昨年度との比較、複線・洗掘の解消状況、植生の回復状況の視点から取りまとめた（表7参照）。

複線の解消状況については、植生の回復が見られない場合であっても、踏み跡等、人の通った形跡が全く見られないような場合は「ほぼ解消（◎）」、わずかしかが見られない場合は「解消傾向（○）」、変化がなかった又は解消していなかった場合は「△」、また、新たな複線が出現したり、再度複線化しつつあったりした場合は「×」とした。

また、洗掘についても、昨年度の状況と比較して、「解消傾向（○）」、「変化なし（△）」、「洗掘の進行（×）」として評価した。

植生の回復状況については、平成19年度調査で裸地であった箇所及びその周辺において、実生や草本植生の発生がみられた場合は「回復傾向（○）」、変化がなかった場合は「△」、逆に植生が衰退していた場合は「×」とし、周辺環境を鑑みて、そもそも周辺植生が貧弱であり、植生の回復が見込めないと考えられた場合は「—」とした。

以上の点を踏まえて、結果の概要とそれを踏まえた考察を、以下の通り整理した。

### a) 複線化箇所

34箇所（複数箇所を含む）の複線化箇所のうち、21箇所（H23：19箇所）で複線化はほぼ解消し、1箇所（H23：4箇所）で解消傾向がみられた。これらの複線化が解消又は解消傾向にあった多くの箇所では、誘導ロープや倒木・枯枝等が設置され、利用者のコントロールに適切に寄与したと考えられる。しかし、中には、小規模であるものの、複線化が生じた箇所（1箇所）もあり、複線化が解消していない箇所も含めて、誘導ロープや倒木等による複線化解消のための対策が必要と考えられる。また、植生の回復状況としては、8箇所（H23：10箇所）が回復傾向にあり、12箇所（H23：8箇所）が特に変化がなかった。

### b) 洗掘箇所

10箇所の洗掘箇所のうち、7箇所の洗掘箇所では特に変化が見られなかったが、2箇所では雨水の流下により若干の洗掘の進行がみられた（洗掘詳細調査結果参照）。また、1箇所では、設置されていた木階段が流出し（写真1、写真2参照）、別位置にて再設置されていた。



写真1：S-4の状況（平成23年9月15日撮影）



写真2：S-4の状況（平成24年11月25日撮影）

## ■ まとめ

利用調整地区の運用が開始されて、5年が経過した。これまでの歩道状況のモニタリング結果を踏まえて、誘導ロープや倒木等の設置によるルートの特化により、歩道の複線化は解消されつつあり、また、植生についても、回復しつつあるという傾向が確認された。これらのことから、全体として、利用調整による利用圧の低減が示唆されたと考えられるが、中には、洗掘等により歩道の荒廃が進んだ箇所も見受けられた。今後も、モニタリング項目を精査しつつ、良好な森林地域の保全とより質の高い利用の提供を念頭に置いた取組を実施していく必要がある。



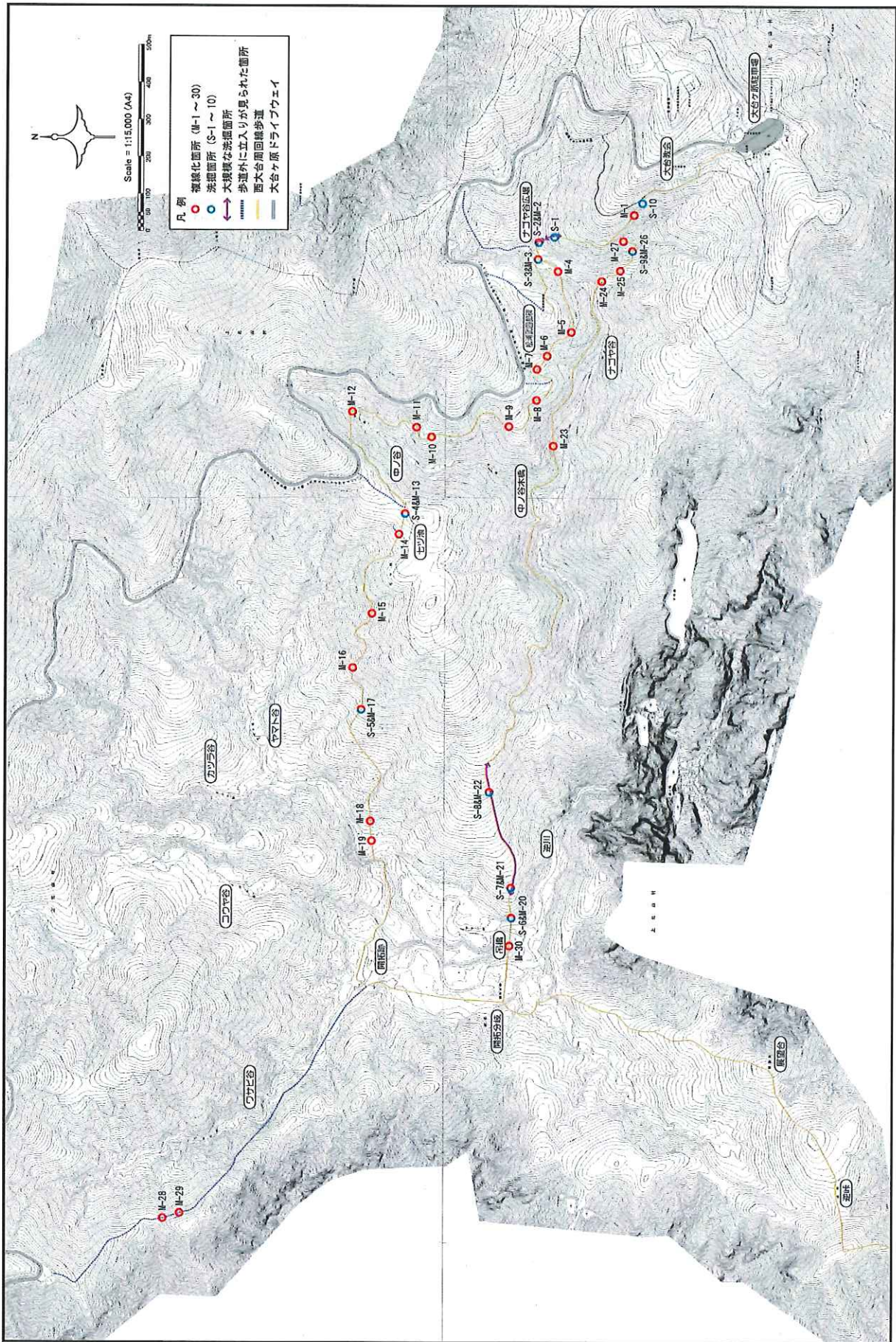


図1：歩道状況調査地点

表7：歩道状況調査結果概要

地点番号	区間長等	深さ	幅員		推測される発生原因	昨年度との比較	複線・洗掘の解消状況	植生の回復状況
			主線	複線				
M-1	10m	—	100cm	80cm	樹木の根上がり迂回	根上がりによる段差により、複線が主線化しつつある。植生（ミヤコザサ）は特に変化なし。	△	△
M-2	15m	—	190cm	(不明瞭)	洗掘箇所を迂回	複線化はH20にほぼ解消済み。植生（コケ類）は回復傾向にある。	◎	○
M-3	3m	—	150cm	40cm	洗掘箇所を迂回	特に変化なし。（波渉点が下流側に変更された）	△	△
M-4	15m	—	30cm	60cm 40cm	洗掘・滞水箇所を迂回	主線が不明瞭であり、複線化は特に変化なし。植生（草本類）は回復傾向にある。	△	○
M-5	9m	—	80cm	(110cm)	樹木を迂回	防鹿柵の設置により、複線化はH19にほぼ解消済み。植生は特に変化なし。	◎	—
M-6	6m	—	80cm	80cm	樹木を迂回	倒木の腐朽により、小規模であるものの再複線化した。下層植生（コケ類）は特に変化なし。	×	△
M-7	13m	—	230cm	(不明瞭)	ガレ場を迂回	誘導ロープ設置により、複線化はH21にほぼ解消済み。植生は特に変化なし。	◎	—
M-8	4m	—	100cm	(60cm)	崩落路を迂回	誘導ロープ設置により、複線化はH21にほぼ解消済み。植生は特に変化なし。	◎	—
M-9	6m	—	80cm	(60cm)	樹木を迂回	誘導ロープ設置により、複線化はH20にほぼ解消済み。植生は特に変化なし。	◎	△
M-10	北:8m 南:6m	—	120cm	(110cm) (不明瞭)	主線が不明瞭	誘導ロープ設置により、複線化はH21にほぼ解消済み。植生は特に変化なし。	◎	—
M-11	10m	—	80cm	(100cm)	沢部の崩落	新ルートが明確になったため、複線化はH20にほぼ解消済み。植生は特に変化なし。	◎	—
M-12	21m	—	90cm	(130cm) (不明瞭)	主線が不明瞭	誘導ロープ・倒木の設置により、複線化はH20にほぼ解消済み。植生は特に変化なし。	◎	—
M-13	10m	—	80cm	(50cm)	洗掘箇所を迂回	誘導ロープ設置及び洗掘箇所の本階段の整備により、複線化はH20にほぼ解消済み。植生は回復傾向にある。	◎	○
M-14	18m	—	80cm	(100cm) (180cm)	水路となった本線を迂回	誘導ロープ設置により、複線化はH20にほぼ解消済み。植生は特に変化なし。	◎	△
M-15	10m	—	90cm	(不明瞭)	ガレ場を迂回	複線化はH20にほぼ解消済み。植生は特に変化なし。	◎	—
M-16	13m	—	70cm	(不明瞭)	樹木及び軽度の洗掘箇所を迂回	誘導ロープ・枯枝の設置により、複線化はH20にほぼ解消済み。植生は特に変化なし。	◎	△
M-17	東:33m 西:15m	—	東:100cm 西:160cm	東:(不明瞭) 西:50cm	東:洗掘箇所を迂回 西:樹木及び軽度の洗掘箇所を迂回	東側の複線化はH23の誘導ロープの設置により、ほぼ解消済み。西側の複線化は特に変化なし。植生は特に変化なし。	東:◎ 西:△	△
M-18	28m	—	110cm	100cm	樹木及び軽度の洗掘箇所を迂回	複線化は特に変化なし。植生（コケ類）は回復傾向にある。	△	○
M-19	30m	—	110cm	(100cm)	ショートカット、水路となった主線を迂回	誘導ロープ設置により、複線化はH20にほぼ解消済み。植生は回復傾向にある。	◎	○
M-20	27m	—	200cm	(不明瞭)	洗掘箇所を迂回	複線化はH21にほぼ解消済み。植生は特に変化なし。	◎	—
M-21	東:35m 西:7m	—	東:260cm 西:250cm	(不明瞭)	洗掘箇所を迂回	複線化はH21にほぼ解消済み。植生は特に変化なし。	◎	△
M-22	12m	—	190cm	(50cm)	洗掘箇所を迂回	複線化はH22にほぼ解消済み。植生は特に変化なし。	◎	△
M-23	9m	—	80cm	(50cm)	樹木を迂回	枯枝等の設置により、複線化はH23にほぼ解消済み。植生は特に変化なし。	◎	—
M-24	13m	—	150cm	(80cm) (100cm) (100cm)	主線が不明瞭	誘導ロープ・倒木の設置により、複線化はH21にほぼ解消済み。植生は特に変化なし。	◎	—
M-25	50m	—	100cm	(100cm)	主線が不明瞭、ショートカット	誘導ロープ設置により、複線化はH20にほぼ解消済み。植生（ミヤコザサ）は回復傾向にある。	◎	○
M-26	東:24m 西:16m	—	100cm	50cm	洗掘箇所を迂回	東側の複線化は特に変化なし。西側の複線化は倒木の設置により、解消傾向にある。植生（ミヤコザサ）は回復傾向にある。	東:△ 西:○	○
M-27	北:6m 中:5m 南:6m	—	100cm	50cm	樹木及び軽度の洗掘箇所を迂回	中央部の複線化はほぼ解消。残りの2つの複線化は特に変化なし。植生（ミヤコザサ）は回復傾向にある。	北:△ 中:◎ 南:△	○
M-28	9m	—	70cm	60cm	軽度の洗掘箇所を迂回	複線化、植生（コケ類）ともに特に変化なし。	△	△
M-29	6m	—	70cm	60cm	明確な理由不明	複線化、植生ともに特に変化なし。	△	△
M-30	21m	—	60cm	90cm	根上がり・滞水箇所を迂回	複線化、植生ともに特に変化なし。複線が主線化しつつある。	△	△
S-1	20m	100cm	130cm	—	雨水の流路	特に変化なし。	△	△
S-2	15m	70cm	190cm	—	雨水の流路	〃	△	△
S-3	3m	90cm	150cm	—	雨水の流路	〃	△	△
S-4	8m	90cm	80cm	—	雨水の流路	本階段（2段）が流出し、別位置にて据付けられていた。	×	△
S-5	10m	40cm	100cm	—	雨水の流路	特に変化なし。	△	△
S-6	50m	50cm	200cm	—	雨水の流路	〃	△	△
S-7	68m	40cm	250cm	—	雨水の流路	雨水の流下により、若干の洗掘の進行がみられた。	×	△
S-8	96m	90cm	190cm	—	雨水の流路	〃	×	△
S-9	9m	40cm	100cm	—	雨水の流路	特に変化なし。	△	△
S-10	6.5m	100cm	130cm	—	雨水の流路	〃	△	△

注1) 幅員については、各地点で計測した横断面の有効幅員。( )表記は、複線化がほぼ解消した箇所の幅員を表す。  
 注2) 複線・洗掘の解消状況 … ◎: ほぼ解消、○: 解消傾向、△: 変化なし又は解消していない、×: 新規・再複線化(洗掘化)傾向、  
 植生の回復状況 … ○: 回復傾向、△: 変化なし、×: 衰退傾向、—: 変化なし(周辺植生が貧弱であり回復の見込みは薄い)



## (2) 洗掘詳細調査

昨年度、依然として解消傾向がみられない洗掘箇所について、洗掘詳細調査を実施した。今年度は、その中で特に歩道の荒廃が懸念された赤い吊橋～中ノ谷木橋の区間の3箇所（S-6～8）について、「洗掘詳細調査」を継続実施した。

### ① 調査概要

#### a) 調査日時

今年度調査：平成24年11月24日(土)

(基準調査：平成23年8月31日(水))

#### b) 調査対象箇所

調査を実施した箇所は、過年度調査より抽出されている洗掘箇所の10箇所のうち、特に荒廃が懸念されたS-6～8の3箇所とした。



図2：洗掘詳細調査対象位置図

#### c) 調査方法

洗掘箇所（S-6～8）において、下記の方法により詳細調査を行い、昨年度との比較を行い、歩道面の土壌浸食量及び堆積量を計測した。（図3参照）

- 歩道の両脇にアングルを設置（不動点とする）し、水準器を用いて水糸（テグス等）を水平に張る。
- 張った水糸に沿って、水平方向に10cm間隔で水糸から歩道面までの鉛直距離（ $V_1 \sim V_{n+1}$ ）をmm単位で測定する（その際、巻尺の先端におもりを結束し、確実に鉛直方向になるようにする）。

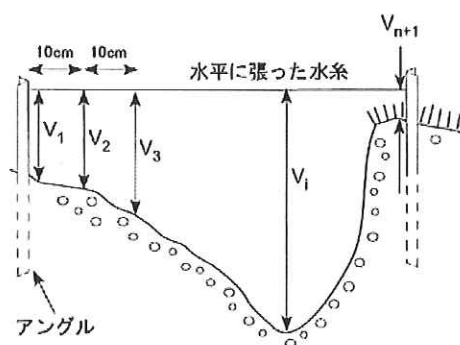


図3：歩道の浸食量（堆積量）の推定方法

## ② 調査結果

今年度は、特に荒廃が懸念された洗掘箇所を対象に、洗掘細調査を実施した。今年度の調査については、昨年度、8月31日に実施した調査を基準として、その変化量を計測した。

なお、基準調査と今年度調査との調査スパンは、451日間（H23年度調査：77日間）であった。調査結果の概要を下記に示す。

### ■ 結果概要

- ・ 今回の3つの調査地点は、いずれも浮石が多いガレ場であり、雨水の流下や人の利用等による石の移動はある程度想定された（図4中での10数cmの侵食・堆積）が、全体的に侵食が進んでいる状況が明らかとなった。
- ・ 特に、S-7については、平成23年度の調査期間中に、調査地点付近の樹木が倒れ（写真3参照）、侵食量が増加していたが、今年度の調査では、さらにそれが顕著になった（図4中、S-7の左側の水色の部分）。
- ・ S-8の付近については、雨水の流下が原因と推測される洗掘が進行した（写真4参照）。



写真3：調査地点(S-7)付近の倒木



写真4：洗掘の進行が懸念された調査地点(S-8)付近

表8：洗掘詳細調査結果概要（平成24年度）

調査箇所	基準調査日	比較調査日	浸食量(m <sup>2</sup> )	堆積量(m <sup>2</sup> )	変化量(m <sup>2</sup> )
S-6	2011.08.31	2012.11.24	0.08	0.06	-0.02
S-7	2011.08.31	2012.11.24	0.31	0.06	-0.25
S-8	2011.08.31	2012.11.24	0.18	0.06	-0.12
平均			0.19	0.06	-0.13

参考：洗掘詳細調査結果概要（平成23年度）

調査箇所	基準調査日	比較調査日	浸食量(m <sup>2</sup> )	堆積量(m <sup>2</sup> )	変化量(m <sup>2</sup> )
S-6	2011.08.31	2011.11.16	0.06	0.08	0.02
S-7	2011.08.31	2011.11.16	0.12	0.17	0.05
S-8	2011.08.31	2011.11.16	0.12	0.04	-0.08
平均			0.10	0.10	0.00



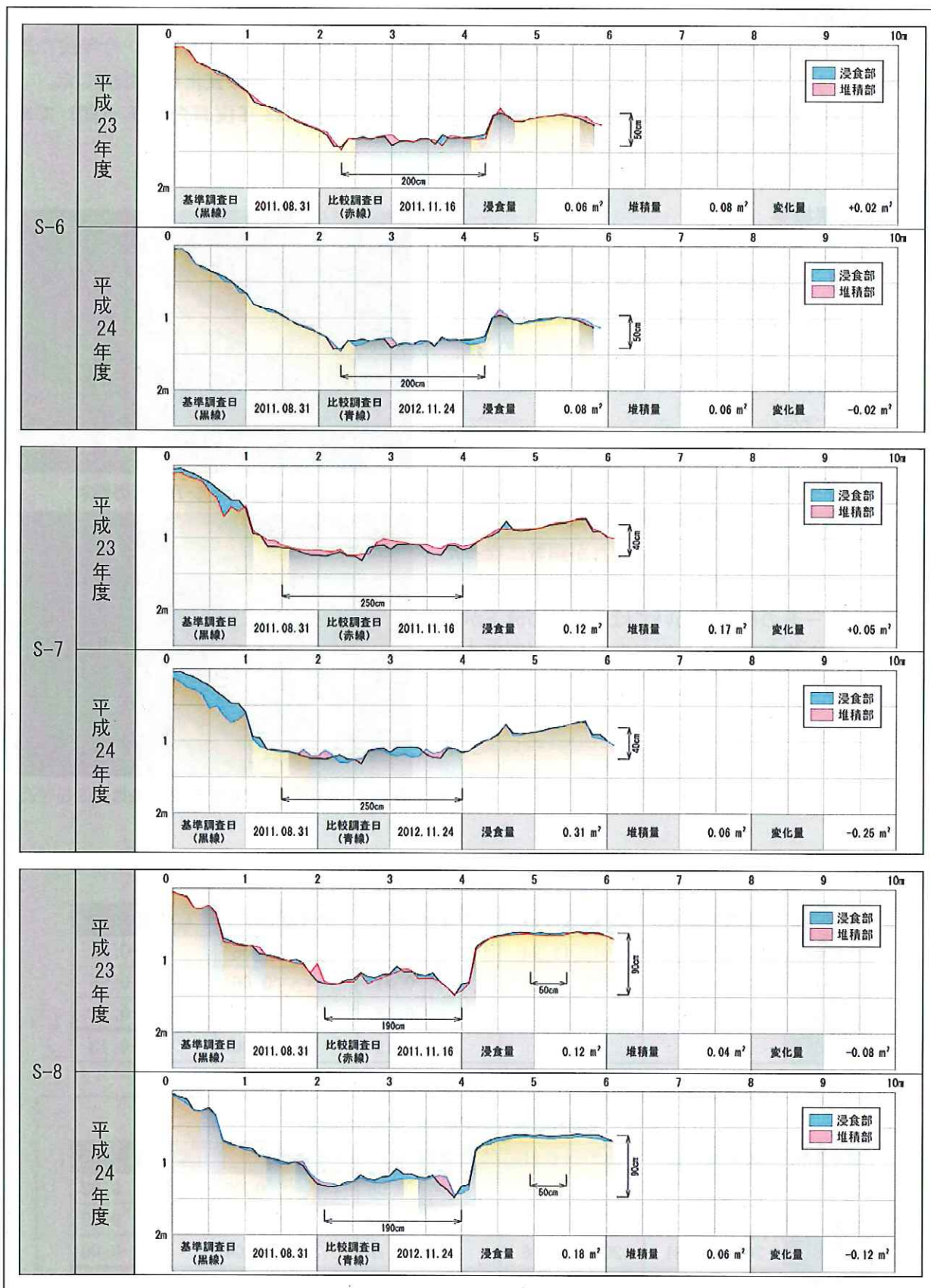


図4：昨年度の結果との比較

※ 地表面種別 … □：土、□：砂礫、□：石



## 2. 利用調整のモデル地区としての情報発信

---

### (1) 西大台利用調整地区普及啓発ポスター・リーフレット等の作成・配布【予定】

広く一般を対象に、西大台利用調整地区の魅力や制度概要、立入認定手続きの方法、申請窓口等について周知、普及啓発するため、下記の通り、ポスター等を作成し、関係機関、全国の山岳連盟、近畿圏の登山用品店等に幅広く配布する予定である。

#### ■普及啓発媒体・部数

- ・ 普及啓発ポスター 400 枚
- ・ リーフレット 12,000 部
- ・ ガイド冊子 2,000 部

#### ■実施時期

- ・ 平成 25 年 3 月下旬～4 月上旬（予定）

### 3. その他の取組

#### (1) 西大台希少植物盗掘防止パトロールの実施

吉野熊野国立公園特別保護地区及び利用調整地区に指定している地域内で、平成23年6月、大台ヶ原自然再生推進事業に基づく調査中に請負業者がフガクスズムシソウの盗採を発見した。今後の希少植物の盗採、盗掘を防止するとともに当該行為が自然公園法違反である旨を周知することを目的に地元警察との合同パトロールを実施した。

#### ① 実施概要

合同パトロールは、下記のとおり実施した。

表9：合同パトロールの実施日時・参加者

回	日時	場所	参加者
事前調査	6月6日(水) 13:00~16:00	大台教会出入口～ 七ツ池～開拓跡～ 経ヶ峰 (図5参照)	吉野自然保護官事務所 (3名) 吉野警察署 (4名) 奈良県 (1名) (株)環境総合テクノス (1名) 巡視員 (1名)
第1回	6月26日(木) 早朝	大台教会出入口～ 七ツ池～開拓跡～ 経ヶ峰 (図5参照)	吉野自然保護官事務所 (3名) 吉野警察署 (4名) 奈良県 (1名) 巡視員 (1名) 奈良新聞者記者 (1名)
第2回	7月21日(土) 早朝	大台教会出入口～ 七ツ池～開拓跡～ 経ヶ峰 (図5参照)	吉野自然保護官事務所 (3名) 吉野警察署 (2名) 奈良県 (1名) 巡視員 (1名) 奈良新聞社記者 (1名)

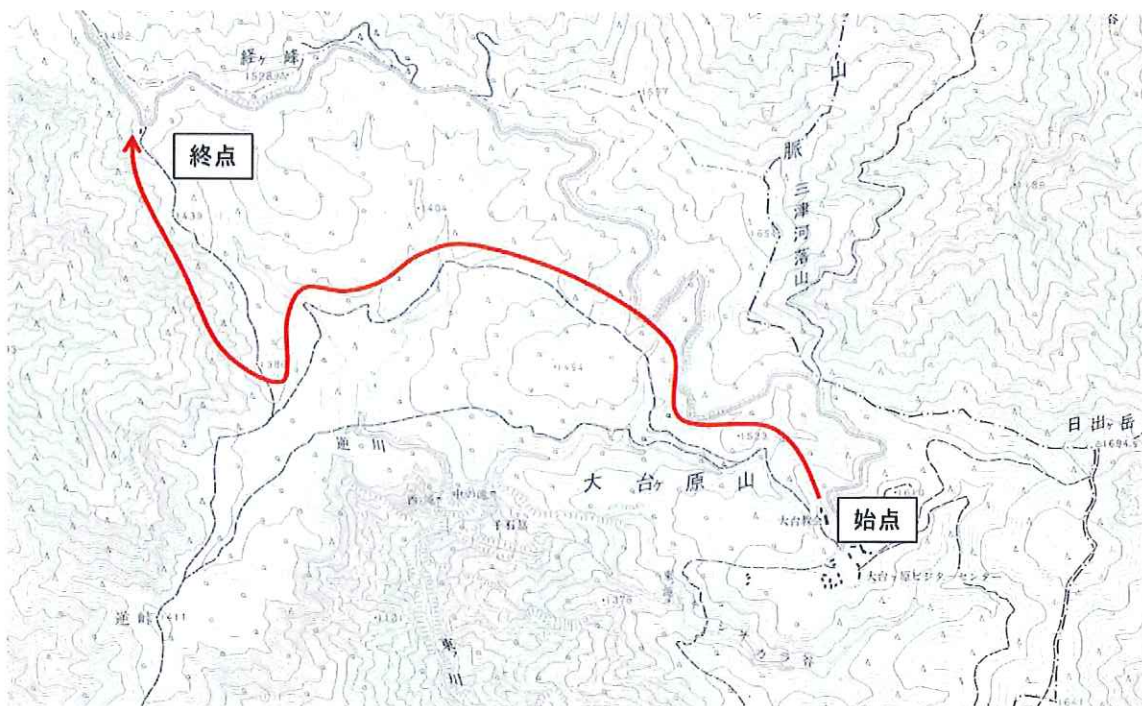


図5：パトロール位置

## ② 実施結果

各回のパトロールを通して、盗掘者及び立入り許可を持たない違反者との接触はなかったため、直接の取締りはなかった。

また、第2回実施後の奈良新聞の記事掲載（6月27日付、参照）、ニュース番組での放送（7月21日夕刻）等により、当該行為が自然公園法違反である旨を周知することができた。今回の取組が、今後の盗掘盗採の再発防止、普及啓発につながることを期待される。

# 貴重な植物の盗採防ごう

貴重な森林生態系が残る吉野熊野国立公園大台ケ原で、希少植物が盗まれる被害を防ごうと、環境省吉野自然保護官事務所（吉野町）などは26日、関係機関と合同パトロールを実施した。特別保護地区の動植物等を傷つけたり持ち出すなどの行為は自然公園法で禁じられている。

同事務所と吉野署、県の3機関計9人が参加。自然環境を守るため立ち入りが制限されている西大台利用調整地区を保護官や巡視員らが巡回し、違法に登山した形跡や植物が盗まれた跡がないかなどをチェックした。

## 大台ケ原で 合同パトロール

昨年6月、西大台地区で環境省の植生調査中に、県版レッドデータブックで絶滅寸前種に指定された希少植物が盗採されたことが分かり、今年から合同パトロールを始めた。

今年も盗掘が疑われるケースが報告されており、同事務所は巡視員らの監視の目を強めている。七目木修一自然保護官は「関係機関と協力して警戒を続け、貴重な自然の保護に努めたい」と話した。



吉野道を巡回し、希少植物の盗掘などに目を光らせる自然保護官ら（26日、吉野熊野国立公園西大台利用調整地区）

図6：奈良新聞記事（平成24年6月27日付（10面））

## (2) 吉野熊野国立公園西大台利用調整地区 歩道管理マニュアルの作成

西大台地区の歩道は、西大台地区利用適正化計画において、「歩道や標識等の整備は必要最小限とする」としているが、その「必要最小限の整備」がどの程度のものかは十分に議論されておらず、また、歩道機能を維持するための修繕行為の捉え方についても、関係者間における考え方の幅が大きい状況にあった。そこで、昨年度、西大台利用調整地区の歩道の荒廃を予防し、同時に利用環境の質を維持していくため、「西大台歩道の在り方検討ワーキンググループ」を開催し、そこでの検討を踏まえ、今後の歩道の維持修繕を進める際の方針である「西大台利用調整地区『大台ヶ原周回線歩道事業』個別事項対応」を取りまとめた。

今年度は、この方針をもとに、日常管理の手法や補修の実施手順等を明らかにし、管理を適正かつ円滑に実施することを目的に「吉野熊野国立公園 西大台利用調整地区 歩道管理マニュアル」を作成した。

なお、詳細については、「参考資料 3-1-3 別添」を参照のこと。